県政モニターにお答えします……

県下にはいま三八〇名の「県政モニター」を委嘱して、県政に対するご意見やご要望をおききし、県政に反映させています。これらのなかから最近のものをご紹介しましょう。

どうなつた？有明大干拓 土地改良は総合的にやれ

問 有明臨海工業地帯の建設が叫ばれて以来、有明大干拓事業はやゝ影が薄くなったような感じである。

また総合開発（特に緑川・白川水域）についても最近あまり耳にしなくなったが、土地改良は総合開発と関連させて総合的にとりあげなければ、いくら個々に事業を実施しても、効果はあがらないのではないかと思う。これらについて、県はどう考えているか。

いま調査を進めている……有明大干拓 実施できるものから……土地改良

答 総合開発についての考えは今もって変りもしなければ後退もしていません。有明海の干拓も、熊本、福岡、佐賀、長崎四県でいろいろと調査が進められています。また政府の各省からも調査費が出されており、調査も大分すゝんでいますが、何しろ大事業だけに、まだ残念ながら着手の段階までには至っていません。

ところで、有明臨海工業地帯の造成と、有明海干拓との関係について述べましょう。

ある地点でしめ切って干拓事業をすゝめるとしても、ずっと陸地だけができあがるわけでなく、築後川、菊池川、白川、その他の大きな河川が流れ込んでいるため、それらの水面は残しておかねばならないから、有明大干拓をやったからといって、有明臨海工業地帯の造成と競合するわけではなく、むしろ相互に事業を促進することになりましょう。

例えば、有明海の海底から砂鉄をとるには、砂をとって鉄分だけを製鉄原料に使い、残った砂をしめ切りに利用できるといった利点があるわけです。

また白川や緑川水域の総合開発についても決してなおざりに考えているわけではなく、現在でも十分な関心をもってとりくんでいます。

緑川の改修自体も直轄河川に指定され、上流に多目的ダムを作る計画も熱心にすすめています。

前からいわれていた「鮎の瀬ダム」については、毎年相当の経費を使い、できるだけ早く調査を終えて一年でも早く着工するよう努力してきたが、残念ながら地質が思わしくないので、まだ着工をみるまでに至っていません。

もし鮎の瀬地点が駄目ならば、他の地質のいい地点に、ぜひダムを作る計画で現在も努力している。

また、白川や緑川の下流地区についても、耕地を災害から防止するための「天君ダム」の建設計画や、大門地区の土地改良、天明新川の改修等いろいろな事業を最近手がけはじめています。

もちろん、ご意見のように、それぞれの事業を個々に推進していたのでは効果もあがらないので、総合的な見地から、大きく実施すべきであることは云うまでもありません。

一方、必要な事業をひとつひとつ如何にして実施に移すかも、また重要なことなので、計画は総合的に周到にする反面、事業の実施については、実施できるものから逐次とりあげながら、その地域の開発を進めていくという考えで現在も努力を続けているわけです。

高校の校区外入学を……

問 上益城郡嘉島中学校の区域は既に熊本高校の校区内に入っている益城中学校のそれに比べて距離も近く、交通もきわめて便利である。それにもかかわらず、熊本高校の校区外となっているため、嘉島中学校の卒業生は、せっかく同高校に入学を希望しても思うように入学できず困っている。校区外にある者でも容易に入学できるようにしてもらいたい。

学区制の不合理 是正を検討中

答 公立高校の学区別は、十年ほど前に制定されたものですが、その後の町村合併により、現在では不合理な面もずいぶん多いようにみうけられます。

だから、現在の学区制を今後どのように改めていったらよいかを、いま検討していますが、県としては、町村合併で著しく不合理な点が認められるところから、まず改めていく方針です。

また、ご要望のあった校区外からの入学志願の許可については、現在、教育委員会でも募集定員の二割以内の範囲で校区外からの志願を認めることにしています。

ところで、学区制というものは、ご承知のように、できるだけ校区内の高校に優秀な生徒を入学させることによって、学校差をなくしていこうという趣旨から制定されたものであり、中学校でもそのように指導願っている実情なので、ご父兄におかれても、それらの点についてご理解ご協力下さるようお願いします。

農業のあとつぎの育成を……

問 農村では最近人手不足がかなり深刻な問題となっているが既に私の住んでいる部落でも、青年は男女合わせてわずか五人ぐらいしか残っていない状況である。

また、近所の農家が三戸、四戸と離農していく姿をみていると、将来のことが心配でならない。農業県である本県としては、もっと農業のあとつぎの育成をはかり、さらに、自分の土地で安心して農業に従事できるような対策を講じてほしい。

農業を魅力あるものにする政策を……

答 農村の人手不足の問題は、農業県である本県としては、まことに重要な問題ですが、この問題を根本的に解決するためには、どうしても、農業経営を近代化して、魅力のある農業を育成していくことが必要です。

働いても働いても食っていくだけ、あるいは、他の仕事に比べて、非常に労力を消耗するというような、旧態依然とした農業経営では、どうしても若い人たちが農村に定着しなくなるおそれがあります。

そこで、県ではこれまでの米麦中心の農業から一歩でも二歩でも脱け出して、魅力のある農業経営をつくりあげるため、例えば果樹、畜産の主地形成を促進するなど、現在いろいろな手段で農の業近代化を押し進めています。

それとともに、将来は経営伝習農場の現模を拡大したり、設置箇所をふやしたりして、次代の農業を背負うに足る、若い指導者を大いに育成していくつもりです。

また今年からは、農村青年を主な対象として、農業の機械化に対応できるよういろいろな機械教育を実施しようというねらいで、産業開発青年隊をつくりました。

キャンプを菊池郡大津町に設け、一月七日に発足して、すでに訓練に入っています。この制度も大いに活用していきたいと思います。

要するに、農村の人手不足を解消するためには、さきほども申しあげたように先ず若い人たちに魅力を持たせるような農業経営を行なっていくことがもっとも必要であり、そのため県としても、今後いっそう農業経営の近代化、農業構造改善事業の推進に努力していきたいと思っています。

密漁取締りの強化を……

問 本県海域での他県業者による密漁が最近急激にふえているため、我々漁民の水揚げが非常に減り、零細漁民は生活にも困る現状である。県では、密漁取締りをもっと強化してほしい。

取締船をふやし、他県とも連絡をとって……

答 熊本県の沿岸漁業が、他県業者の「底引き」で荒らされて困るという話はしばしば耳にしており、また先日の新聞紙上にも本県の取締船「あそ」が密漁者を捕えたという記事がのっていました。

いま県では「あそ」と「はやて」の二隻の取締船で取締りに当っていますが、なにぶん本県は有明海、不知火海、それに天草の外海というようにきわめて海域が広いので、なかなか思うように取締りができない現状です。

そこで本年度中に新らしくもう一隻船をつくって、有明海、不知火海天草の外海の三海域に一隻づつ取締船を配置して今後ますます取締りを強化していきたいと考えています。

また、そのほか、県外からの密漁については、現在本県だけでなく、鹿児島、長崎の各県が歩調を合わせて取締りに当っており、また国の方でも取締ってもらっていますが、今後ともこれらの関係方面と密接な連絡をとって、県民の方々の被害ができるだけ少なくなるよう努力していきたいと思います。

汚物を川に捨てる衛生車がある

問 最近、球磨地方では衛生車を使って汚物を処理する家庭が相当多いが、一部の衛生車は汚物を棄てる場所がないために、球磨川に棄てている現状なので、なんとか善処してほしい。

保健所でさっそく措置します…

答 最近、汚物が肥料に使われなくなったため、その処理についてはどこでも困っているという実状です。

特に大きい都市でその傾向が強いようです。しかし、八代市では、汚物を水に変えると同時に、一部を肥料にするための処理槽を設置しています。

また町や村でも、現在数ヵ町村が共同して処理槽をつくろうという計画もあちこちにありますが、経費の面で実施の段階に至っていない現状です。

ところで、球磨川に汚物を流すことは、衛生上絶対いけませんので、さっそく保健所を通じて調査のうえ、今後汚物を川に棄てたりすることのないよう措置します。